～養牛部トピックス～

【モナカ号の分娩】

　先日、午後の実習中に牛舎で母牛を見守る生徒たち…牛房内ではエアシャー種のモナカ号の分娩がありました。一般的に家畜の分娩は深夜や早朝に見られることが多く、日中、さらには実習中だったため、多くの生徒たちが新しい命の誕生の瞬間を見ることができました。モナカ号は初めての分娩で落ち着かない様子で陣痛を迎えましたが、時間が経過したため、数名の生徒たちで引っ張ることに。誕生した子牛は生徒たちがタオルで羊膜を拭き取り、元気に初乳を飲む姿が印象的でした。

　学校で飼育する乳牛の「エアシャー種」は日本でも飼育数が少なく、希少な品種でもあります。母牛であるモナカ号と子牛の今後の成長が楽しみです。



（写真：分娩中のモナカ号）



（写真：生まれた子牛）



（写真：部員たちにも大人気）